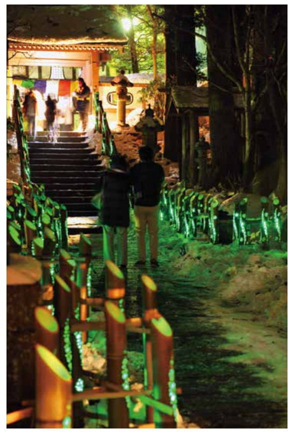
Town Topics

まちの身近な話題や出来事を教えてください。広報担当者が取材に伺います。
本シティプロモーション課　☎0287(62)7109

⬆幻想的な光に包まれる湯っ歩の里

⬅点灯式当日だけ特別にライトアップされた妙雲寺本堂



⬆竹灯籠は温泉街のあちこちに配置されている（蓬莱橋）

⬅竹灯籠の光に照らされて初詣に向かう人たち（妙雲寺参道）

幻想的な光が温泉街を包む
～塩原温泉竹取物語～

塩原温泉街を竹灯籠の幻想的な光が包み込むライトアップイベント「塩原温泉竹取物語」が今年も始まりました。3回目となる今年は、約1,000本もの手作り竹灯籠が温泉街中心地にある妙雲寺参道や湯っ歩の里などの他、新湯地区や元湯地区などにも設置され、夕方になると淡い光で温泉街を照らしています。

「この光景を見て、塩原を訪れた人たちが笑顔になってくれると嬉しい」と話してくれたのは、実行委員長の君島達己さん。このライトアップは2月末まで楽しめ、4月からのデスティネーションキャンペーン期間中も実施する予定です。

怖くても 負けないぞ！
～たかはやし保育園 新年のつどい～

1月9日にたかはやし保育園で行われた新年のつどい。新年を祝い、日本のお正月文化に親しむために毎年開催されています。今年は園児72人が参加して紙芝居で干支の由来を学んだり、羽子板やこまなどお正月遊びの実演を見たりしました。会場が一番盛り上がりを見せたのが、獅子舞登場の場面。怖くて泣いてしまう子もいれば、触れ合いを楽しみにしていた子も。獅子舞の縁起を担ぎ、元気に1年を過ごしてくれることを願っています。

美味しい野菜を 今年も食卓に
～卸売市場初競り～

吐息が真っ白になるほど朝の冷え込みが厳しかった1月5日。早朝から黒磯那須公設地方卸売市場で新春恒例の初競りが開かれました。競り人の威勢の良い掛け声が市場に響くと、周りを囲む買参人が競い合いながら次々と値をつけ、あっという間に競りは終了。ねぎや白菜など新鮮な野菜がトラックに積み込まれ、市内の小売店へと運ばれて行きました。昨年の天候不順で高騰している野菜価格。今年は豊年満作になることに期待です。

01 日本や世界を舞台に、輝かしい実績を残した４人
～その功績を称え、市長特別賞を贈呈～

スポーツをはじめとした各方面で全国、そして世界を舞台に市民の皆さんが活躍しています。私たちに夢や希望を与えてくれた皆さんに市長特別賞が贈られました。

田代 英才 さん

足利工業大学附属高校3年生。小学6年から柔道を始め、厚崎中学校時代の恩師の勧めで高校からレスリングに転向。その恩師の背中を追い、教師になるのが夢という。

愛媛県で開催された国民体育大会レスリング競技会。田代英才さんは、少年男子グレコローマンスタイル74kg級で地元・愛媛県の選手との激闘を制し、見事に優勝。今後は、「大学でもレスリングを続けて、とちぎ国体までは現役でいたい。いずれ世界で戦える選手になりたい」と抱負を教えてくれました。

佐藤 久和 さん

35歳の時、上司に誘われて硬式テニスを始め、スキーで足腰を鍛えるために本市に移住。全日本ベテランテニス選手権ではダブルス・シングルスの両方で優勝を経験。

アメリカ合衆国フロリダ州で開催されたITF世界ベテランテニス選手権。この大会の国別対抗戦75歳以上のクラスに日本代表の一人として参加し、日本を第3位に導いた佐藤久和氏。「これからも夢を持って、体のケアに気を使いながら続けていきたい」と語ってくれました。

近藤 清 さん

中学生の時に軟式テニス、40歳で本市に移住したことをきっかけに硬式テニスを始める。軟式テニスでは全国大会を2回制し、今回の優勝で軟式・硬式両方で全国制覇を達成。

全日本テニス協会が主催する、35歳以上を対象とする国内最高峰の硬式テニスの大会「全日本ベテランテニス選手権」。この大会の男子70歳以上シングルスに初出場・初優勝した近藤清氏。近藤氏は、「本市から国体の選手が出るよう子どもたちの指導もしていきたい」と語ってくれました。

田代 龍二 さん

那須特別支援学校高等部3年生。瞬発力だけでなく、持久力も必要な400m走において、後半の粘りが持ち味。来年度から社会人として、仕事とスポーツの両立を目指す。

10月に愛媛県で行われた全国障害者スポーツ大会。田代龍二さんは陸上競技400m少年に出場し、参加者35人が5グループに分かれて競う中、グループ第1位に輝きました。今回が2度目の挑戦だった彼は「前回の国体は2位で、悔しい思いをした。今年は必ず優勝したかった」と喜びを噛みしめていました。

北浦竜次 選手

02 本市からプロ野球選手が誕生
～北浦選手が市長を訪問～

プロ野球のドラフト会議で、北海道日本ハムファイターズから投手として5位指名され入団した北浦竜次選手が、市長を表敬訪問しました。

北浦選手は本市出身で、現在は白鴎大足利高校の3年生。共英小学校2年生の時に野球を始め、中学生の時には硬式野球チームの「大田原ボーイズ」に所属し活躍しています。

君島市長の激励に対し、北浦選手は「1日も早く1軍選手となり、多くの人から応援される選手になりたい」とプロで活躍する抱負を力強く語ってくれました。